

# 平成29年度事業計画

## (事業方針)

国では、昨秋に決定された「農業競争力強化プログラム」に基づき生産から流通、加工、消費まであらゆる面での構造改革を進め、更なる農業の競争力強化を実現するとしており、担い手への農地の集積・集約化をはじめ、戦略的輸出体制の整備、生産資材価格形成の仕組みの見直しなどを進めている。

また、県においても、新たな長期総合計画を策定し、収益性の高い農業の実現や優れた経営感覚・高い技術を持った担い手の育成などへの取組を強化したところである。

こうした中、当公社事業の柱でもある「農地中間管理事業」は4年目を迎え、過去3年間の活動経過や実績を評価反省するとともに、同事業の実績がさらに伸ばすための新たな仕組みづくりを進める必要がある。

そのためには、各農協単位に県内各地へ設置された「農地活用協議会」を中心に農業協同組合、市町、農業委員会等の関係機関との連携・協力を密にするとともに、新たに各市町に設置される農地利用最適化推進委員が活躍できる体制づくりを進める。

また、昨年度協定を締結した県農業法人協会を始めとする担い手組織等と連携した取組を加速させる。併せて、農地の売買を行う「農地中間管理機構の特例事業」も推進していく。

さらに、担い手育成に資する事業として、青年農業者等育成センターにおいては新規就農支援を推進する県等関係機関との連携を図りながら就農促進活動を推進し、経営感覚に優れた意欲溢れる農業者の育成確保を図る。

## 1. 運営

### (1) 理事会の開催

事業計画（実績）及び予算（決算）等について審議するため、通常理事会を開催するほか、必要に応じ臨時理事会を開催する。

### (2) 評議員会の開催

一般社団・財団法人法並びに定款に定める事項の審議をするため、定時評議員会を開催するほか、必要に応じ臨時評議員会を開催する。

### (3) 評価委員会の開催

客観的かつ中立公正な観点から、農地中間管理事業の実施状況を評価し、これに関し必要と認める意見を聴取するため開催する。

### (4) 監査会の開催

事業実績並びに収支決算関係について監査を受けるため開催する。

### (5) その他

必要に応じ、事業推進等に関し県当局等と連携し打ち合わせ会議を開催する。

## 2. 事業計画

### (1) 農地中間管理事業

離農又は経営規模縮小農家などから優良農地を借り入れて中間保有し、地域の担い手農家や新規就農者などにその農地を貸し付ける事業を実施する。

#### ア 農地等の借入れ

農地等		備考
件数	面積	
件	ha	

600	200	果樹180件60ha（うち果樹農業好循環形成事業に伴う農地の借入7件:0.7ha） 田220件70ha 野菜・花200件70ha
-----	-----	---

### イ 農地等の貸付け

農地等		備 考
件数	面積	
600件	200ha	果樹180件60ha（うち果樹農業好循環形成事業に伴う農地の貸付7件:0.7ha） 田220件70ha 野菜・花200件70ha

### ウ 事業の推進活動

- ・重点地区の設定と農地の掘り起こし活動の推進
- ・農地中間管理事業のメリット周知
- ・農地活用協議会等関係機関との連携促進
- ・事務体制の改善
- ・果樹農業好循環形成事業、土地改良事業等関連事業の推進

### (2) 特例事業（売買事業）

離農又は経営規模縮小農家などから優良農地を買い入れて、地域の担い手農家や新規就農者などにその農地を売り渡す事業を実施する。

#### ア 農地等の買い入れ

農地等			備 考
件数	面積	価 格	
15件	2.5ha	50,000千円	

#### イ 農地等の売渡し

農地等			備 考
件数	面積	価 格	
20件	4.8ha	64,560千円	H28年度からの持ち越し 5件、2.3ha 14,560千円

### (3) 農地売買等事業（旧農地保有合理化事業）

旧農地保有合理化事業を通じて、規模縮小農家から借り上げ、担い手農家に集約化して貸し付けている農地の終期管理を行う。

#### ア 農地等の借入れ（終期管理）

農地等	備 考

件数	面積	
3件	0.9 <sup>ha</sup>	H28年度からの継続分

イ 農地等の貸付け（終期管理）

農地等		備考
件数	面積	
2件	0.9 <sup>ha</sup>	H28年度からの継続分

# 収支予算書<正味財産増減計算書>

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

公益財団法人和歌山県農業公社

公益目的事業 農地中間管理機構・農地中間管理事業

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①農地中間管理事業収益	[ 4,800,000 ]	[ 6,300,000 ]	[ Δ 1,500,000 ]
ア農用地等貸付収入	4,800,000	6,300,000	Δ 1,500,000
②受取補助金等	[ 49,545,000 ]	[ 47,625,000 ]	[ 1,920,000 ]
ア農地中間管理事業補助金	47,935,000	47,625,000	310,000
イ果樹農業好循環形成事業補助金	1,610,000	0	1,610,000
③雑収入	[ 5,000 ]	[ 5,000 ]	[ 0 ]
ア雑収入	5,000	5,000	0
経常収益計	54,350,000	53,930,000	420,000
(2) 経常費用			
①農地中間管理事業費	[ 8,000,000 ]	[ 7,890,000 ]	[ 110,000 ]
ア農用地等借入費	6,090,000	7,590,000	Δ 1,500,000
イ農用地等管理事業委託費	1,910,000	300,000	1,610,000
②農地中間管理事業業務費	[ 49,130,000 ]	[ 46,040,000 ]	[ 3,090,000 ]
ア人件費	10,980,000	9,710,000	1,270,000
イ旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0
ウ事務費	3,500,000	1,500,000	2,000,000
エ光熱費	300,000	300,000	0
オ賃借料	650,000	650,000	0
カ業務委託費	32,200,000	32,380,000	Δ 180,000
キその他業務費	300,000	300,000	0
経常費用計	57,130,000	53,930,000	3,200,000
評価損益調整前当期増減額	Δ 2,780,000	0	Δ 2,780,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	Δ 2,780,000	0	Δ 2,780,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	Δ 2,780,000	0	Δ 2,780,000
一般正味財産期首残高	Δ 7,959,500	Δ 4,297,000	Δ 3,662,500
一般正味財産期末残高	Δ 10,739,500	Δ 4,297,000	Δ 6,442,500
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	Δ 10,739,500	Δ 4,297,000	Δ 6,442,500